

京都市立光徳小学校における新型コロナウイルス感染症対策

教育活動再開にあたり、本校では、「新しい生活スタイル（様式）」の「実践事例」も踏まえ、以下の対策を講じ、児童生徒及び教職員の健康管理と感染拡大防止に努めます。

- ★ 「毎朝」をはじめ、活動中の丁寧な健康観察の実施
- ★ 授業中や登下校時のマスク着用
- ★ 登校時や休憩時間、給食前等のこまめな手洗いの徹底
- ★ 多くの子どもたちが手を触れる箇所の毎日の消毒徹底
- ★ 席配置の工夫、換気の徹底等「3密」（密閉・密集・密接）回避

消毒の徹底

- 多くの児童生徒等が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチ、共用する器具等）は、適宜、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%～0.1%）又は消毒用エタノールによる消毒を、毎日行います。
- 子どもたちは、文部科学省からの通知に基づき、流水と石けんによる手洗いを基本とします。
- 共用による感染を防ぐため、手を拭くタオルやハンカチとティッシュ等を必ず持参させてください。

登校時

- 「健康観察票」を活用した健康管理を行います。ご家庭でも、毎朝のお子さんの体温測定にご協力ください。登校時は必ず「健康観察票」を持参させてください。
- 登校時に「健康観察票」に記載がない場合等、健康状態が確認できない場合は、別室で検温等を実施し、必ず確認します。お子さんに咳や発熱等の症状があれば、ご家庭へ連絡をさせていただき、お迎えをお願いしますので、ご協力ください。
- 発熱等の風邪症状がある場合は、自宅で休養することを徹底してください。
- 家からマスクを着用して登校してください（下校時も同様）。
- 登校後には、必ず手洗いを行います。

活動中

- 児童生徒、教職員、来校者は、必ずマスクを着用します。
やむを得ずマスクを外す場合や場面では、咳エチケットを守るよう、子どもたちに指導します。（やむを得ず、マスクを付けられない場合等、学校へご相談ください。）
- 教室等の換気をこまめに行います。授業中も常時、換気を行い、登下校時と休憩時間には、窓や扉をより広く開けて換気を行います。（空調使用時も同様）
- 座席等は可能な限り間隔を空けて、身体的距離を確保します。
- 飛沫が飛ばないように、給食は向かい合せでの会食はせず、会話を控えるよう指導します。また、給食当番はもとより、全員の食事の前後の手洗いを徹底します。更に、配膳室での密集を避け、配膳の際にも、食品等への飛沫の付着を防ぐため、マスク着用を徹底します。
- 休み時間、外から教室等に入るとき、トイレの後、給食の前後など、こまめに手洗いを行います。

★ 児童生徒や教職員に感染者が確認された場合は、すみやかに全校児童生徒を下校させ、児童生徒並びに学校施設の安全が確認されるまでは登校を中止しますので、ご承知おきください。

ご家庭でも、いろいろな場面で“新しい生活スタイル”の実践を!!

- 放課後等や休日に、お子さんが、または親子等で、公園等で過ごすとき
⇒ 「すいた時間・場所を選ぶ」、「大人数で行かない」等
- お買い物に行くとき
⇒ 「保護者お1人、または少人数で」「レジに並ぶときにスペースを空ける」等
- お食事の時
⇒ 団らん(ご家族や友人同士等)の場・意義も大切にしながら、回し飲み等は避け、密接や飛沫に注意する 等

<「新しい生活スタイル」実践例> (抜粋)

※ **京都市 新しい生活スタイル** で **検索!**

【共通の取組】

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けましょう。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避けましょう。
- 症状がなくてもマスクを着用しましょう。
- 家に帰ったら、まずは手や顔を洗いましょう。
- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗いましょう。
- 毎朝、体温を測定し、体調管理を。
- 遊びに行くときは、屋内より屋外を選びましょう。
- 帰省や旅行など、他府県への不要不急の移動は控えましょう。
- 特に、感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控えましょう。
- 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理を厳重に。

【娯楽、スポーツ等】

- 公園はすいた時間に行きましょう。
- ジョギングは少人数で。
- すれ違う時は、距離をとりましょう。
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用しましょう。
- 狭い部屋、施設での長居は避けましょう。
- 歌や応援は、十分な距離かオンラインで。
- 接待を伴う飲食店等の利用は控えましょう。

【公共交通機関の利用】

- 朝夕の通勤通学ラッシュ時の利用は控えましょう。
- 車内や駅構内等では人との距離を空けましょう。
- 車内等での会話は控えめに。
- 徒歩や自転車利用も併用しましょう。

【食事】

- 持ち帰りやデリバリーを利用しましょう。
- 大皿は避けて、料理は個々に。
- 対面ではなく、横並びで座りましょう。
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに。